

『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

作成年月日	平成20年7月9日
作成部署	建設交通部 砂防課

事業名	河梨急傾斜地崩壊対策事業（補助）	地区名	京丹後市久美浜町 河梨
概算事業費	890百万円	事業期間	平成11年度～平成23年度
事業概要	平成10年・16年の台風や豪雨が原因による斜面崩壊で家屋被害が発生し、新たな斜面崩壊の兆しもあることから事業実施し、人家19戸・河梨公民館（避難実績あり）市道を土砂災害から保全する。		
目指すべき環境像	当該箇所は、2級河川河梨川が集落内を流下し久美浜湾に注ぐ。土砂移動を軽減することにより河川への土砂流出を防ぎ、生物の生育環境の保全と、長期的に見た景観の保全を目指す。		
関連する公共事業	土砂災害防止法により、河梨地区全域において砂防基礎調査を実施し、土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定。土砂災害時の警戒避難体制が確立。		

評価項目	評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
	主要な評価の視点	選定要否			
地球環境・自然環境	地球温暖化（CO ₂ 排出量等）	○	当該箇所は平成10年・平成11年に斜面崩壊が発生し、相当量の土砂移動が発生した。このため、斜面崩壊防止工事を実施し、著しい土砂移動を防止するとともに、斜面植生回復と周辺の自然環境を保全する必要がある。	斜面崩壊に対して、土砂移動の抑止および植生の回復を図るとともに、周辺の自然環境を保全する。施工にあたっては、土砂災害を防止する目的に沿い、極力大きな地形配の改変を行わないよう配慮し、地質に応じた工法を採用する。	3
	地形・地質	○			4
	物質循環（土砂移動）	○			5
	野生生物・絶滅危惧種	—			—
	生態系	○			4
	その他	—			—
生活環境	ユニバーサルデザイン	—	当該箇所は、斜面崩壊防止工事が必要となる。斜面崩壊防止工事による騒音・振動・粉じん等の発生を抑制し、周辺住民の生活環境を確保する。また、施工期間中は、低騒音・低振動機を使用し、騒音・振動の発生を抑制する。また、施工期間中は、低騒音・低振動機を使用し、騒音・振動の発生を抑制する。また、施工期間中は、低騒音・低振動機を使用し、騒音・振動の発生を抑制する。	工事実施中は、低騒音・低振動機を使用し、騒音・振動の発生を抑制する。また、施工期間中は、低騒音・低振動機を使用し、騒音・振動の発生を抑制する。また、施工期間中は、低騒音・低振動機を使用し、騒音・振動の発生を抑制する。	—
	水環境・水循環	○			3
	大気環境	○			3
	土壌・地盤環境	○			4
	騒音・振動	○			3
	廃棄物・リサイクル	○			4
	化学物質・粉じん等	—			—
	電磁波・電波・日照	—			—
	その他	—			—
地域個性・文化環境	景観	○	当該箇所は、山地斜面に挟まれた狭隘な山間集落であり、その景観や地域の特性は山地に負うことが大きい。地域住民との協働は、土砂災害防止のための警戒避難体制の整備について継続的な取り組みがある。	地山の改変を極力減じる工法を採用し、植生の回復のための緑化には、草本類・木本類にも郷土種を混合し、速やかな植生回復とともに、周辺景観への影響をできるだけ少なくするよう配慮する。	3
	里山の保全	○			4
	地域の文化資産	—			—
	伝統的行祭事	—			—
	地域住民との協働	○			5
	その他	—			—